ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

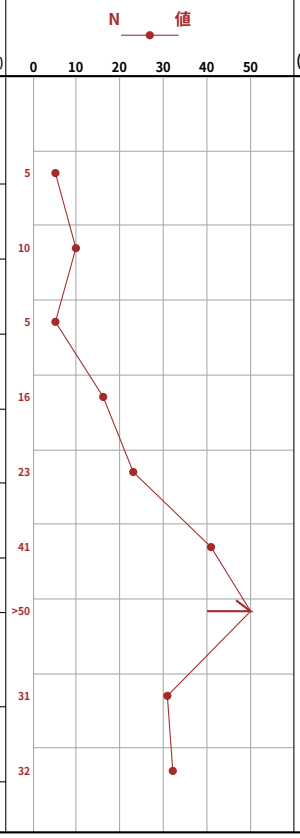
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-1(左岸)	調査位置				北　緯	36 ° 53 ' 23.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所　河川砂防部　河川砂防課		調査期間	2008-06-16 ～ 2008-06-17		東　経	140 ° 01 ' 36.0000 "
調査業者名		主任技師	現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	222.17 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °
総掘進長	9.45 m	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	221.47	0.70	0.70		盛土 (BS)	暗褐			砂礫主体の盛土 植生根・砕石混入		
1	220.77	0.70	1.40		礫混じり粘土 (CH-G)	暗褐		中位	含水比・粘性中位 植生根・腐植物混入 礫は径φ10～50mm程度		
	220.27	0.50	1.90		シルト (M)	褐灰		軟らかい	含水比・粘性中位 腐植物少量混入		06/17 1.85
2	219.47	0.80	2.70		砂礫 (GS)	褐灰	緩い		径φ10～30mm程度の亜円礫主体 マトリックスは細～中砂 所々に径φ50～70mm程度の礫点在		
3	218.82	0.65	3.35		粘土 (CH)	茶褐		軟らかい	含水比・粘性上位 均質な状態		
4 5 6 7 8 9	212.72	6.10	9.45		粘土混じり砂礫 (GS-C)	灰茶褐	中ぐらい		径φ10～30mm程度の亜円礫主体 マトリックスは細粒土主体で中～粗砂混入 所々に径φ50～70mm程度の礫散在 3.60m付近にコア長11cmの巨石混入 4.50m付近にコア長5cmの粗石混入		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	2	1	5／30	5
1.45					
2.15	4	4	2	10／30	10
2.45					
3.15	1／20	4		5／30	5
3.45					
4.15	5	5	6	16／30	16
4.45					
5.15	5	5	13	23／30	23
5.45					
6.15	11	14	16	41／30	41
6.45					
7.15	50／4			50／4	>50
7.19					
8.15	10	10	11	31／30	31
8.45					
9.15	10	11	11	32／30	32
9.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						06/16
						06/17